

様式第1号

日田集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成24年2月5日

修正日：平成25年4月24日

市町村名	八頭町	組織名	農事組合法人 日田農業生産組合	
1 地区の範囲				
八頭郡八頭町日田地区（及び周辺地区）				
2 地区の概要				
水田面積	37 ha			
主な水田栽培作物	水稻			
農家数	76 戸			
認定農業者数	1法人			
地域水田農業ビジョンの担い手数	0			
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。）				
・ 設立時期（規約等の制定日）【平成24年4月20日】				
	組織形態（該当形態に○）	加入農家数		
【現状】前年度実績 （22年度）	○・未組織 ・作業受託型 ・（協業経営型）	0 戸		
【目標】事業開始翌年度 （24年度）	・共同利用型 ・作業受託型 ○・（協業経営型）	55 戸		
注）集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増加でも可。				
4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標				
項 目	【現状】	【目標】		
集積面積 ①	0 ha	18.2 ha		
うち作業受託 ②	ha	ha		
対象水田面積 A	30.5 ha	30.5 ha		
集積率 ①/A	0%	※③	60%	
うち作業受託 ②/A	0%	※④	%	
注1）集積率の目標は、50%超が採択要件。				
注2）集積率の目標は、原則として現状より高い数値を設定すること。				
注3）集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。				

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1	<p>担い手の明確化及び水田利用集積目標</p> <p>農事実行組合員76戸を対象に行ったアンケート結果によると回答者の約4割の方が、農業後継者がなく、集落営農組織の必要性があると回答した農家は75%以上あった。</p> <p>担い手の高齢化や後継者不足に対応して、まずは、任意組合として日田農業生産組合を組織化し、集落内の農作業を組合が中心となって行う体制の整備を行い、集落内の農地維持を図る。</p> <p>また、平成24年度には任意組合を法人化し、組合の業務及び財産等を新法人に承継し、集落内の農地の集積をはかり水田営農の効率化を進める。</p>
2	<p>水田作付計画、生産調整の方針・具体策</p> <p>水田は、水稻栽培及び生産調整のための自家用野菜栽培等が中心であるが、生産調整作物については、飼料米や飼料稲等も取り入れ、所有農機具の効率的な利用をすすめ、補助金等を有効に活用しながら、農業所得の向上をめざす。</p>
3	<p>農業用機械施設の効率利用</p> <p>日田農業生産組合が新たに導入した4条刈コンバインを農事組合法人日田農業生産組合が承継し、個人所有のトラクターや田植機等を活用し、組織として稲の刈り取り作業の効率化を進めるとともに、耕うん、代かき、田植などの作業の受託を行い、集落の農業生産の維持と農地の有効利用を図る。</p>
4	<p>世代交代、組織の後継者育成に関する方針</p> <p>高齢化が進む農家の現状を考え、組織としてコンバインの専属オペレーターを3名程度育成する。</p>
5	<p>経営多角化の方針・具体策</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	4条刈	1台	6,700,000	平成24年3月導入	○

注 導入したコンバインについては、新たに組織化した、農事組合法人日田農業生産組合に業務のすべてと財産及び負債を合わせて承継する。